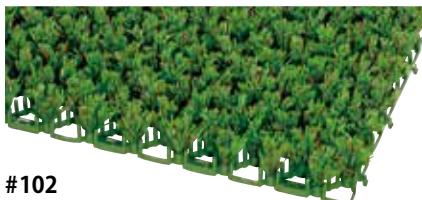


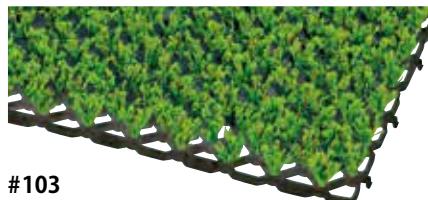
## ■モルタルタイプ

デビロン モルタルタイプは、モルタルに基盤を挿入することで、雑草の繁茂を抑制し、砂埃も雨水で洗い流されやすく種子が飛来しても付きません。また、風などによる人工芝の剥がれの懼がないため、交通量のある中央分離帯・路肩の植樹帯などに安心して使用することができます。

#102ピン止めの上空練りモルタル充填



#102



#103



写真番号:PH-102

品番	タイプ	用途	主構造	葉列	規格(長さ×幅×高さ)	重量	芝生長	固定ピン付属	価格(税抜)
#102	モルタルタイプ	中央分離帯・交差点アイランド・路肩、歩道植樹帯・高架下	芝生無方向性 ポリエチレン樹脂基盤	葉片束288束	500×500×37mm	850g	ナイロン25mm	有	¥12,000/m <sup>2</sup>
#103	モルタルタイプ	中央分離帯・交差点アイランド・路肩、歩道植樹帯・高架下	芝生無方向性 ポリエチレン樹脂基盤	葉片束288束	500×500×37mm	660g	ナイロン25mm	無	¥12,000/m <sup>2</sup>

## 施工例



元気な子供たちの遊んだ後は、何故か地球が掘れて行き、少しづつ危険地帯へと化します。



足に優しい土舗装のはずが、雨水と共に土が流れ、足に負担の掛かる坂道へと変わり行きます。



グランドでよく見かける鉄格子の溝蓋、雨上がりに滑りやすく、ふと落とした100円玉が格子の隙間から溝へと。



土と共生する人工芝生は、掘れて行く地球と子供たちを、安全地帯へと導きます。



砂入りタイプの人工芝は、水はけがよく土の流れを防ぎ、足に負担の掛けないクッション性も兼ね備えています。



置くタイプの人工芝は、水はけもよく、雨上がりの足元、ふと落とした100円玉、景観と3つを守る事の出来る優れもの。

### 人工芝生 デビロン #118 の 施工手順



3cm下がりにて整地する。  
(細かい凹凸をなくす)



製品を連結しながら敷設面に並べる。その後アンカーケイを立てる。  
※カットがある場合には万能ハサミ等でカットする。



アンカーケイを打ち込む。  
(基盤に当たるところまで)



アンカーケイを打ち終わった  
ら砂を入れる。



※砂入れはこすりながら全  
体に均一に入れる。



※芝生の頭が少し見えるぐら  
いまで全面に砂を入れる。



砂入れ終了後に散水をする。



完了